

- ④授業観察の方法、分担等は適切だったか。
- ⑤検証授業を学習指導案通りに実施したか。
- ⑥授業分析のためのデータの処理は適切であったか。
- ⑦観察記録などの解釈・診断は適切であったか。
- ⑧授業仮説の有効性を確認できたか。
- ⑨授業研究は研究推進に役立ったか。
- ⑩次回への見通しについて共通理解できたか。

＜ リーダーの役割について ＞

- ①リーダーは自校の現状実態を把握するために調査、対話などの手だてを構じたか。
- ②リーダーとしての立場を自覚し、研究推進のための援助指導の方針と具体的な手だてを持っていたか。
- ③研修会等の事前において、ねらいが達成できるように内容、方法等について援助指導をしたか。
- ④研修会等においては、推進上の共通理解と成果の共有化が図られるよう援助指導したか。
- ⑤研修会等の事後において、成果や今後の課題について適切な事後指導をしたか。
- ⑥次回の研修会等に向けて態勢づくりや準備物等の配慮をしたか。
- ⑦研究同人としてともに研修する態度をあらわしたか。
- ⑧日常、機会を見つけて援助指導や相談を心がけたか。
- ⑨職員一人ひとりの実態に応じた援助指導を心がけたか。
- ⑩研修推進を円滑にするために施設、設備、経費などについての条件整備に努めたか。

＜ 資料の収集・活用について ＞

- ①計画段階では次の内容について必要な資料を収集・活用したか。
  - ・研修課題集約・研究主題設定・研究仮説設定・研修組織及び年間推進計画作成の、それぞれに関する資料
- ②実施段階では次の内容について必要な資料を収集・活用したか。
  - ・授業仮説の設定・教材の分析研究・事前調査の実施・学習指導案作成
  - ・検証授業・授業仮説に即した事後テストなど・事後研究・研修会等の協議の、それぞれに関する資料
- ③評価段階では次の内容について必要な資料を収集・活用したか。
  - ・校内研修の反省、評価・研究成果の確認・研修推進の改善の、それぞれに関する資料
- ④資料の整理、管理を適切に行ったか。

㊦評価段階の総合的評価の内容を明確にし、決定する。

○評価段階においては、自己啓発の観点から次のような評価の内容が考えられる。